

中酪情報 No.563

2016年5月31日発行
毎号奇数月末発行

発行：一般社団法人 中央酪農会議
編集・発行人：内橋政敏
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-6-1
TEL:03-6688-9841 FAX:03-6681-5295

ご意見・ご感想をお寄せください。

読者の皆さまにもっと本誌をご活用いただきたく、より良い誌面作りに向けて努力してまいります。本誌へのご意見やご要望、ご感想がございましたら、電話・FAX・ホームページにて下記の「中酪情報」編集部までお寄せください。皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

宛先及びお問合せ先

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-6-1
一般社団法人 中央酪農会議「中酪情報」編集部
TEL:03-6688-9841 FAX:03-6681-5295
<http://www.dairy.co.jp/>
(中酪HP「お問い合わせ」ページよりアクセスできます)

編 集 後 記

日本各地で桜の開花が例年より早まり、5月も暑い日が続きましたが、今年の夏はどんな気候になるのでしょうか。

ところで、5月10日には、米国農務省が2016/17穀物年度（9月～8月）最初の「世界及び主要国の穀物・大豆に関する需給見通し」を発表しました。これによると、穀物全体の生産量は消費量を上回り、大豆の生産量は消費量を下回る見込みです。わが国は、家畜飼料用穀物のほとんどを輸入に依存しているため、とうもろこしの需給が気になります。

とうもろこしの生産量は、中国で国家備蓄政策廃止及び国内価格低下に伴う播種面積減により減少するものの、米国で播種面積の大幅増により増加し、アルゼンチン、南アフリカ、EU等でも増加することから、世界全体では前年度を上回り、史上最高の2014/15年度をわずかに下回る見込みです。他方、消費量は、中国、米国等で増加することから史上最高となる見込みです。その結果、世界全体の生産量は消費量を下回り、期末在庫量は前年度より0.4%低下するそうです。